



気になるあいつ
わかぎゑふ

双葉社

らいおんちゃん

今回の写真が、いったいなんのキャラなのか分かる人は関西人だ。これは、大阪の毎日放送のキャラクターのひとつ「らいおんちゃん」である。と書いても、なんのことだか分からない人も多いと思う。2年くらい前だっただろうか、ある日、毎日放送をつけていたらこの「らいおんちゃん」の短いアニメが流れていた。もちろん局の宣伝のために。吹替えは気のなさそうなおっさんの声だった。

真ん中にらいおんちゃんが立って、60年代の格好をし「らいおん〜♪らいおん〜♪ らいおん〜ちゃんねる〜♪」とものすごく脱力して歌っ

ていた。もうお分かりだろうか？

大阪では、毎日放送は4チャンネルなんである。「らいおんちゃん」と「第4チャンネル」をひっつけたシヤレだったのだ。

大阪人はそれを見て、軽く吹いた。そして120%「しょうもなあ」と苦笑いした。しかし、あまりにも気のない歌い方と、しょうもなさすぎるシヤレと、だからといってこのキャラクターを、全面に押し出す気のなさそうな毎日放送の仕掛け方が何となく受けて、らいおんちゃんはそのまま関西のアイドルキャラになったのだ。

らいおんちゃんが登場するまで、関西一のテレビ局のキャラは関西テレビの「カンテーレ」と鳴く、やはりアニメの変な鳥だった。…あれも確か、おっさんキャラだったような気がする。ま、そういうことで、おっさん対決に完全に勝った形のらいおんちゃんなのである。

毎日放送に行くと、ロビーに大きならいおんちゃんのお家が展示され

ている。写真はその中の自分の部屋で座っている、ぬいぐるみのらいおんちゃんだ。アニメ版より少々若くて可愛い。6畳ほどのその部屋にはらいおんちゃんのベッドや、テーブルとイス、食器、着替えなどがあり、いずれもらいおんマークの形をしている。玄関の周りにある庭の木だつて、その形に切り込まれているくらいだ。

そう、ようするにミッキーマウスの完全なパクリである。しかもここまでバカにしているのか？ というノリだ。おそらく毎日放送側も、まさかここまで売れ筋のキャラに発展するとは思ってもみなかったのだろう。おっさんのらいおんが、シャレを言ってるだけだったのだから…。関西というのは、つくづくわけの分からないものが流行る土地である。

先日、仕事で行ったので思わず写真に収めたのだが、その横で「らいおんちゃんの部屋、わしの部屋よりでかいなあ」と真面目に感心している人がいた。私は心の中で「らいおんちゃんって、人気あるんや」と改めて思った次第だ。

関西に来ることがあったら、是非この超マイナーな人気者を探して見て下さいね。

【著者略歴】

わかぎあふ

1959年、大阪府生まれ。女優、エッセイスト。1986年より故中島らも氏とともに劇団「リリパット・アーミー」を主宰し、現在同劇団の進化形「リリパット・アーミーII」の座長。1994年より演劇ユニット「ラックシステム」を旗揚げ。演劇制作会社「玉造小劇店」を運営し、女優のみならず、脚本、演出、メイクから衣装まで芝居全般にわたりその才能を発揮し続けるスーパーレディ。主な著書に『すみっこのすみっこ』『女体の神秘』『秘密の花園』『ぬくい女』『イブの抜け穴』『大阪弁の詰め合わせ』など多数。
